

## 明治期以降の我が国における建築展のメディアとしての展開に関する研究

### Study on the development of architectural exhibitions as a medium in Japan since the Meiji period.

○宮下羽未<sup>1</sup>, 田所辰之助<sup>2</sup>

\*Umi Miyashita<sup>1</sup>, Shinnosuke Tadokoro<sup>2</sup>

The aim of this study is to present the architectural exhibition as a new indicator in the existing history of architecture by capturing its emergence and development from the Meiji period to the end of the war. Through the transition, the significance of the architectural exhibition and its impact on the history of the architectural exhibition will be clarified.

#### 1. はじめに

建築展の多くは情報の伝達過程でさまざまな齟齬を生み出してきた。建築史の流れの中でも、さまざまな局面で建築展が開催され、影響を及ぼした様子を垣間見ることができる。しかし、建築展の歴史を一つの流れとして捉えてきた研究はあまりみられない。

本研究では、日本における建築展の発生とその広がりから、社会や建築界に対する建築展の意義と影響を明らかにすることを目的としている。

#### 2. 研究方法

明治期から第二次世界大戦末までの建築展を雑誌、新聞などの関連資料から収集し、建築展の発生過程ごとに分類し、分析を加える。

#### 3. 博覧会から派生した建築展

明治期から行われた内国勸業博覧会を皮切りに博覧会がブームとなり、建築分野からも出展があった。しかし、部門として建築が成立しているわけではなく、展示されていたのも、鐘楼の雛形などであり、近代建築の展示は見られなかった。<sup>[1]</sup>

大正期に入ると各地域で博覧会が行われるようになる。中でも、1922年3月に開催された「平和記念東京博覧会」（東京/東京府）と9月に開催された「生活改造博覧会」（大阪/日本建築協会）は実物の住宅が展示され、話題を集めた。特に「生活改造博覧会」は生活改善の上で重要なのは住宅とその周辺環境の整備にあるとしたことから、住宅以外の施設や道路の整備を行い、土地付きで住宅を販売した。<sup>[2]</sup>

#### 4. 美術から継承した建築展

美術としての建築もその立場を確立しつつあった。美術展に初めて建築部門が設立したのは「国民美術協会展覧会」<sup>[3]</sup>である。全12回の展覧会を終えると、その活動は建築学会主催の「建築展覧会」に引き継がれる。しかし、「建築展覧会」は美術としての建築という

よりもその年にどれだけの建築が生み出され、成果があったのかを重視する傾向にあった。<sup>[4]</sup>

#### 5. 建築運動から生まれた建築展

分離派建築会（以降、分離派）が結成とともに1920年に行なった習作展を始まりに、各建築団体が結成され、同時に建築展も盛んに行われた。

一連の建築運動は当時の建築会への訴えを社会へも投げかける、自らの「アピールのための建築展」であったと言える。会場は、百貨店や楽器店で、建築に関わる人以外にも目に止まる場所であり、自らの建築作品と建築への思想を届ける為には効果的な会場であった。

#### 6. 政治に吸収された建築展

1930年代に入ると、戦争へ向けた体制を国家が敷くために、建築展が利用されることになる。「大空への武装」展（1934年）は日本建築協会主催、陸軍省、海軍省が後援するというこれまでにない運営体制であった。<sup>[5]</sup>以降、政府による建築展への介入の仕方が変化し、併せて新聞社とも手を組むことで、相当な波及効果をもたらした。国家から建築展という空間を通して国民へ見事にその目的に沿った情報の伝達がなされている。

#### 7. 結論

建築展を一つの指標として日本の近代建築史を見直すことで、建築家たちがいかに建築を捉え、発信していかうとしていたか、その姿とともに、建築が社会に形を変えて受容されていく過程を明らかにできた。

#### 8. 参考文献

- [1] 第四回内国勸業博覧会事務局：『第四回内国勸業博覧会出品部類目録 第2部 美術之部』,1895年。  
 [2] 「住宅改造博覧会出品住宅に就いて」、『建築と社会』, Vol.5, No.9, pp.140-158, 1922年9月。  
 [3] 国民美術協会編：『国民美術協会 略史』,1930年。  
 [4] 建築学会編：『建築学会五十年史』,1936年。  
 [5] 日本建築協会編：『都市武装都市武装促進委員会記録』1935年。

Table 1. 明治期から1945年までの建築展の変遷

